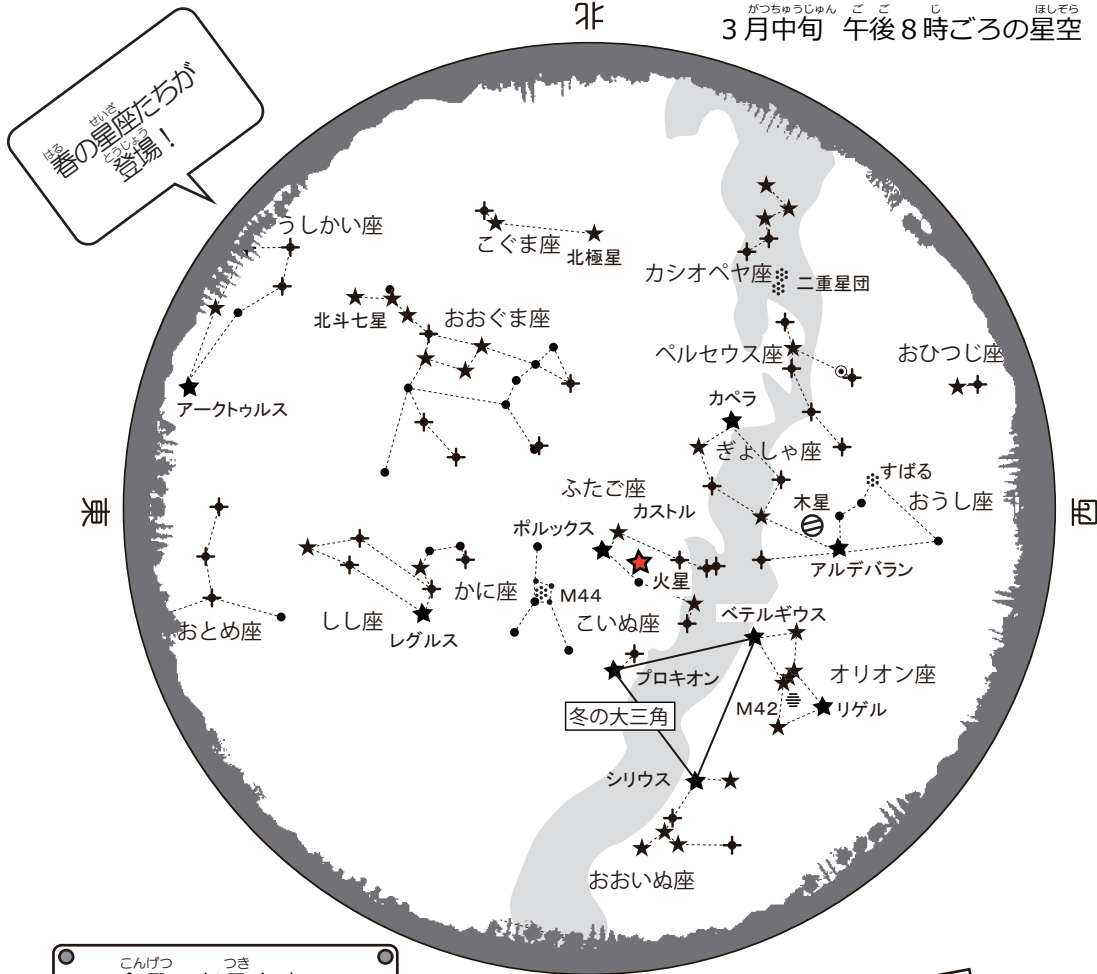


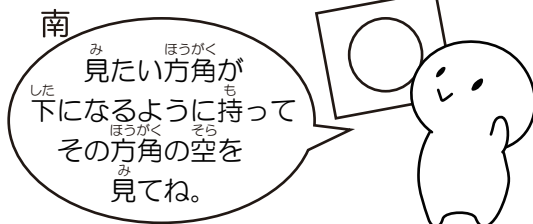
星空だより

2025年3月
No.172
富山市科学博物館

3月中旬 午後8時ごろの星空

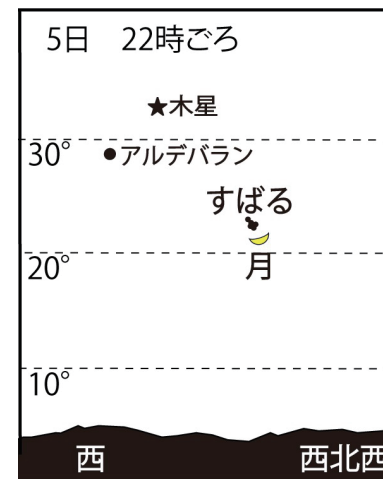


こんげつ つき ～今月のお月さま～		
3月 7日	上弦	●
3月14日	満月	○
3月22日	下弦	●
3月29日	新月	●

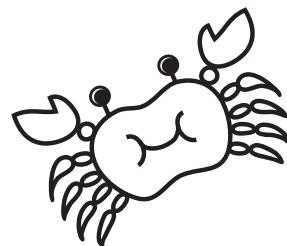


注 目がすばるをかくす

3月5日の22時ごろ、西の空で半月前の月が「すばる」という星の集まりを隠します。これは「すばる食」（または「プレアデス星団食」といいます。観察には双眼鏡がおすすめです。「すばる」の星たちが次々と月に隠されていく様子を楽しむことができますよ。



黄道十二星座紹介 ☆かに座☆



かに座は、ギリシャ神話に出てくるお化けガニの姿といわれています。友達のヒドラが英雄ヘラクレスと戦っているときに助けに入りましたが、ヒドラと共に退治されてしまいました。それを哀れに思った女神により星座になったといわれています。

※黄道十二星座って？
太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

毎週土曜日の夜に開催。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

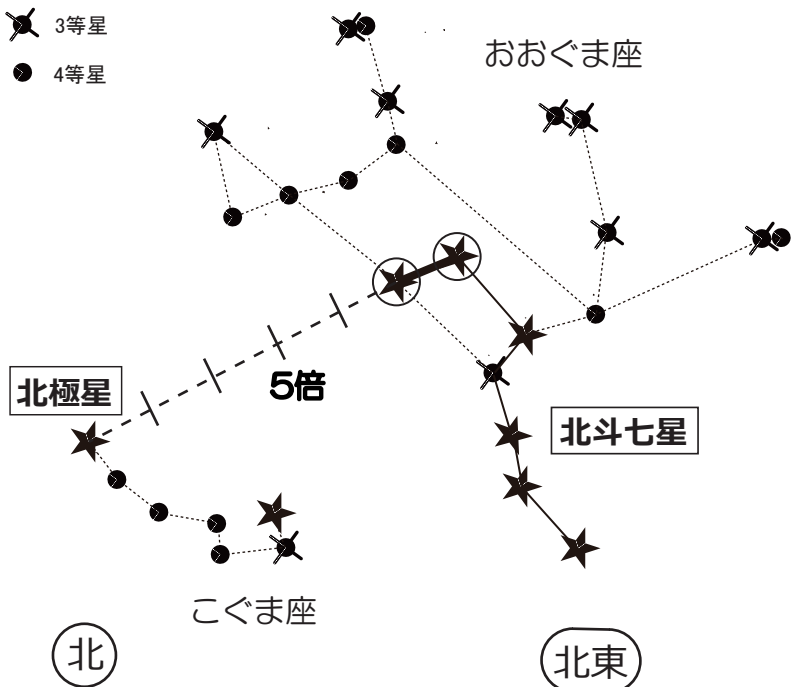


今月の さがしてみよう

北斗七星と 北極星

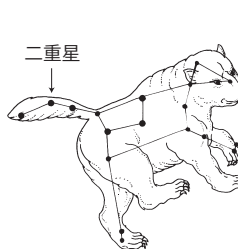
3月中旬 午後8時ごろの北の空

- ★ 2等星
- ✕ 3等星
- 4等星



北東の空に見える北斗七星から北極星を探してみましょう。北斗七星の端のふたつの星の間の長さを5倍伸ばしたところにあるのが北極星です。北極星は2等星で、それほど明るくありません。北斗七星があるのがおおぐま座、北極星があるのがこぐま座です。

今月のオススメ星座！



おおぐま座
北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまの背中からしっぽの部分です。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、目がよい人は肉眼でも2つに分かれて見える二重星です。



こぐま座
長いしっぽの先に北極星があります。ギリシャ神話ではおおぐま座とは親子のクマと言われています。こぐま座には北極星と同じくらいの明るさの2等星コカブがあり、北斗七星から北極星を探すときに間違えてしまうことがあるので注意しましょう。

天文コラム

春分の日

今年は3月20日が春分の日です。春分の日といえば祝日ですが、右の表のように年によって日付が変わります。これは、春分の日が天文学的な計算によって決められているからです。

地球から見て太陽が1年をかけて空を移動する太陽の通り道を「黄道」といい、地球の赤道を天まで伸ばしたものを「天の赤道」といいます。黄道と天の赤道は、2点で交わります。この交わったところをそれぞれ「春分点」「秋分点」といい、太陽がちょうど春分点を通る日を「春分の日」と決めています。この春分点を通る日付は毎年変わるため、春分の日も変わってくるのです。同様に「秋分の日」も日付は毎年同じではありません。

	春分の日
2023年	3月21日
2024年	3月20日
2025年	3月20日
2026年	3月20日
2027年	3月21日

